

1 研究主題

児童の意欲的な取組を促す支援のあり方
～南魚沼の地域素材を活かした授業づくり～

2 研究の概要

- 授業研究会をとおして、上記主題に迫る授業力の向上を図る。
- 地域巡検を実施して、地域素材を学ぶとともに、教材化の力量を高める。
本年度大和地域で実施（他 六日町、塩沢、湯沢の全4地域持ち回り）
- 講演会をとおして地域を見つめる目を養い、授業をよりよくする力を高める。

3 研究の実際

① 地域巡検 8月20日 大和地域

- ・八色しいたけ事業協同組合見学
- ・テーブルマーク魚沼水の郷工場見学
- ・越後ワイナリー見学
- ・千手院・浦佐城跡見学

事業所では、それぞれ、地域の特色を活かした生産の工夫がなされていることを知ることができた。

浦佐城跡では、御館の乱の舞台ともなった浦佐城に実際に登り説明を受けることで地理的条件等がよく分かった。



地域巡検・八色しいたけ

② 授業研究会 11月5日 会場 上関小学校

授業者 正岡 歩実 教諭

単元名 「上関地区から考える戦争から平和へ」

太平洋戦争戦没者の忠魂碑という貴重な地元の史料を手がかりに、中国～東南アジア、太平洋地域に戦争が広がっていったことを調べた。子どもが主体的に追究し、社会事象に迫っていく姿の見られる授業であった。



授業研究会

③ 講演会 12月9日 会場 南魚沼市図書館多目的室

講師 今井 聡 様「米づくりの魅力とこだわり」

地元の米づくり農家で、地域採択教科書に載っている今井さんと教科書編集者からお話をうかがった。

自然の力を最大限に活かす米づくりのあり方から始まり、今の農業経営の課題、魚沼コシヒカリのブランド力、他業種との連携など多岐にわたるお話をうかがうことができた。農業のもつ課題と奥深さを学ぶ貴重な機会となった。

また、編集担当者から、新しい社会科教科書の改善点、活用法など参考になるお話をうかがうことができた。



講演会

4 成果と課題

巡検、講演会は比較的多くの参加を得られ有意義な活動が実現できた。授業研究会では、地域素材を有効に活用した進取果敢な取組で大いに成果があがった。